

## 中川 勲 議員（代表質問）

### 1 上田市長の想いを聞く

「滑川市長の上田昌孝氏が2022年2月の市長選に4選を目指して立候補する意向を固めた」との新聞報道があったが、出馬への想いを聞かせていただきたい。

### 2 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- (1) これまでの感染防止策の反省点はあるのか。
- (2) ワクチン接種は、今後若い世代に移行するものと思うが、どう接種率を向上させるのか。保育所、幼稚園、小中学校の教職員、放課後児童クラブの指導者は、ワクチン接種は済んだのか。また、病床の確保はいくつあるのか。
- (3) 政府はワクチン接種を進めるとしているが、ワクチンの配給は順調なのか。
- (4) 若い世代において、ワクチン接種をしないという人は、SNSを通して批判的な情報が拡散していることを気にして、接種をためらっているとのことだが、どう対応されるのか。
- (5) 保育所、幼稚園等で、感染予防対策を指導強化のもとに行われていると思うが、状況はどうか。
- (6) 教職員の皆さんは、学校の授業、感染予防対策などで大変忙しいと聞かすが、どう対応されているのか。
- (7) 児童生徒は、コロナ禍の中、学校や家庭で心身への影響など生活に変化が出ていないか。

### 3 通学路の安全対策について

- (1) 今年も小中学校の児童生徒の通学路の安全点検を実施されたとのこと

だが、点検結果はどうであったのか。

- (2) 市道北野浜四ツ屋線は現在、車両は時間帯通行止めとなっているが、児童がいつでも安全に通行できるように、歩道を新設すべきと思うが。
- (3) 市道北野大掛線と市道大窪四ツ屋線の交差点における横断歩道の標示はあれでいいのか。児童生徒の行動と違うが、確認しているのか。
- (4) 通学路における防犯灯が少ないのではないか。また、点灯しない街灯もあるのではないか。
- (5) 児童生徒を不審者から守るとともに、交通安全を呼びかける青パトによる安全パトロールの強化を各校下で実施できないか。また、青パトに対する補助金制度も充実すべきと思うが。

#### 4 市民生活について

- (1) コミュニティバスの乗り降りをどこでもできるようにするか、バス停を大幅に増加することができないのか。
- (2) LED以外の街灯の電柱に、ドクガ科のマイマイガの卵が産み付けられ、皮膚炎などの健康被害になる。街灯をすべてLED化にすべきと思うが。

## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 新型コロナ対策について

- (1) 子どもの感染対策
  - ・ 保育園、幼稚園、学童保育、小学校、中学校、教職員、支援員に対してどう支援するか。
- (2) ワクチン接種対象でない12歳未満の子どもへの対策は。
- (3) 検査の充実
  - ・ 抗原検査、PCR検査の拡充について

### 2 防災対策について

- (1) 過日の県防災訓練での課題、教訓は。  
それぞれの担当別で協議されているか。
- (2) それを今後に生かすための具体策はどうか。  
マニュアル等の見直しは必要ないか。

### 3 放課後児童クラブについて

- (1) 支援員研修の受講は進んでいるか。
- (2) 支援員の処遇改善は図られてきたのか。

### 4 加齢性難聴について

- (1) 加齢による難聴と社会生活維持に関する認識はどうか。
- (2) 軽度からの対策が必要と考えるが、見解を問う。
- (3) 集団補聴システムの導入を検討されたい。

## 5 米価下落について

- (1) 今年産の県産米概算金は大幅な下落となった。市内全体での影響をどうみているのか。
- (2) 市としての対応策は考えているか。
- (3) 国・県に対策を求めるべきではないか。

## 浦田 竹昭 議員（一般質問）

### 1 東加積小学校の教育環境整備について

- (1) 小規模特認校制度導入の評価について、また今後特色のある教育プログラムの導入、並びにこの制度の市民周知とさらなる児童生徒の受け入れについて
- (2) 教育指導の充実と複式学級の回避としての、市採教員の配置の検討について
- (3) 小学校を拠点とした地域づくりの一つとしての、コミュニティスクール制度導入の推進とその検討について
- (4) 小学校周辺整備として、駐車場の設置整備の取り組み状況と進捗について

### 2 小規模多機能自治制度導入について

- (1) 以前にも課題提起された、小規模多機能自治に関して、今日まで研修会や勉強会の開催、並びに検討の実態について
- (2) 小学校区単位での地域自主組織としての小規模多機能自治制度導入の検討について

### 3 公共施設の在り方について

- (1) 蓑輪温泉テニス村のグリーンハウスのリニューアル、並びにキャンプ場、バーベキュー広場の管理、整備について
- (2) 東福寺野自然公園の青雲閣、体育館施設整備の取り組み状況と進捗について
- (3) 市民会館大ホール建て替えの今後の具体的な方針・構想について

- (4) 深層水体験施設タラソピアの老朽化に伴う機械設備の今後の対応、方針、検討について
- (5) 千鳥スキー場の公共残土の盛り土の安全性、並びに万が一の災害時の対応、そして今後の活用、運用について
- (6) 屋内ゲートボール場の保守、修繕、改修の今後の対応、方針、検討について
- (7) これまでも、指摘させていただいた小さな課題、まとめて4項目について
  - ア 市役所正面の噴水池のコンセプト、並びに今後の対応、改修について
  - イ 市民交流プラザ1階の大画面テレビの設置のコンセプト、並びに今後の運用について
  - ウ ほたるいかミュージアム周囲の水張池の設置のコンセプト、並びに今後の運用について
  - エ 行田公園のSL機関車の設置の意義、コンセプト、並びに今後の管理、運用について

#### 4 滑川市自殺対策計画の関連について

- (1) 自殺対策計画策定から、今日まで当市の自殺者の推移、並びに自殺対策の様々な施策、取り組みの検証と評価について
- (2) 自殺は、その原因、要因として、家庭、地域社会、職場等人間関係のトラブル、あるいはいじめ、恫喝等のパワハラ、過剰な業務量、長時間労働等が想定されるが、職員の実態調査をされたことはあるのか。
- (3) 市が自殺対策計画を策定し、自殺対策の取り組みを推進する立場として、世の中に自殺者が出ることに対しての見解、並びに再発防止としての対応について
- (4) 市役所職場内において、過去10年余りの、休職者数の推移、並びに退職者数の推移について、そしてそのうちのうつ病等の精神疾患やいじめ、恫喝等のパワハラ、そして人間関係のトラブル等メンタルヘルスでの、休職、離職、退職者の推移についての確認、並びに再発防止対策としての職場環境改善への取り組みについて

## 脇坂 章夫 議員（一般質問）

### 1 富山県総合防災訓練について

- (1) 滑川消防署員の訓練内容と講評は。
- (2) 滑川市消防団員の訓練内容と講評は。
- (3) 聴覚障害者の災害時訓練内容と対応について

### 2 鳥獣被害について

- (1) 現在までイノシシによる被害状況について
- (2) イノシシによる目新しい被害防止対策情報は。
- (3) 熊の出没状況は。

### 3 集中豪雨被害について

- (1) 水田の畔の崩壊状況について
- (2) 農林道の被害状況について





## 大浦 豊貴 議員（一般質問）

### 1 今後の生活支援に関する方針について

- (1) 平成 27 年 4 月に生活困窮者自立支援法の施行により、これまで支援につながってこなかった、縦割りの各福祉制度の中で対応されてきた生活困窮者の実像が、就労や家族問題を持つ現役世代、生活困窮家庭の子ども、高齢の生活困窮者等のまとまりを持った存在として明らかとなったとされる。本市においても生活困窮者に対し、生活保護に至る前の段階で自立に向けた支援機関への結びつけ等、実施されているところである。その中で、令和 2 年度生活困窮者自立支援事業では、令和元年度 12 件の支援件数に比べ 59 件に増加し、一時生活支援事業の増加、法改正により新たに設けられた住居確保給付金件数も 7 件報告された。増加に関する要因・これからの推移の予測、これまでとの困窮者の世代や支援ニーズに対する変化等について問う。
- (2) 自ら自立相談支援機関に相談できない人へ必要とする支援を届けることも課題とされ、支援ニーズの把握・自立相談支援機関への結びつけは重要であるが容易なことではないと考える。支援制度の周知を図っても当事者自らが知ろうとすることがなければ、支援へとつなげられない。税や国民健康保険、水道等の滞納情報の活用も滞納者と困窮者の結びつける根拠とも考えにくい。生活困窮者の早期把握・早期支援を可能とする対応について見解を問う。
- (3) 公営住宅は、民間の賃貸住宅に比して低廉な家賃設定がなされ、生活・住宅に困窮する低額所得者等であっても入居可能な住宅セーフティネットの機能を有している。国交省では、2018 年 3 月 30 日付で公営住宅管理標準条例の改正において、「今般の民法改正による債権関係の規定の見直しや単身高齢者の増加を踏まえ、今後、公営住宅の入居に際し、保証人を確保することがより一層困難となることが懸念される所、保証人を確保できないために公営住宅に入居できないといった事態が生じることのないよう、保証人に関する規定を削除するもの。」とし、保証人の確保を前提とすることから転換すべきと説明された。本市では、今年度よりこれまで 2 名の保証人の確保から 1 名に緩和されたところではあるが、「今後、保証人を確保することが困難になる」課題について見解を問う。
- (4) 公営住宅の入居に際して連帯保証人の要求を行う自治体では、入居希

望者の生活状況等の諸事情を鑑み、連帯保証人の免除や猶予を設けており、本市もこれに対応されていると認識しているが、免除要件として「市長が特別な事情があると認める者」のような抽象的な条項で定めていては、希望者は連帯保証人の確保を必須と思い、申し込みをちゅうちよすることにならないか見解を問う。

- (5) 保証人を定めないことによる問題点は、家賃の回収やトラブル・死亡時の手続等あり、また各事業所の活用案に挙げられる住居支援法人や死後委任事務契約等の活用は財政の負担につながるなど、数多くあり想定できるものである。しかし、公営住宅法にある国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的にするのであれば、誰ひとり取り残さない社会へと対応していくことが自治体の責任と考えるが、今後の方針について問う。
- (6) コロナ禍での、緊急事態宣言やまん延防止措置などの実施により人々の接触・外出自粛・社会的・経済的活動の制限が余儀なくされたことで、対面でのコミュニケーションをとることが減り、社会ネットワークの欠如した社会状況が生じていると考える。感染対策により民生委員らの見守り活動も難しい状況だが、社会的孤立が生じないように継続した活動を維持しなければ孤独死などの問題も懸念される。民生委員児童委員の方々の感染症に応じた今後の活動は、全国民生委員児童委員連合会や県協議会から当面の留意点が示されているが、地域の実情に応じた活動内容・方法等について検討することとされている。また、新型コロナウイルス感染症は、基礎疾患を有する方が重篤化しやすいといわれることから、基礎疾患を有し不安のある委員等へは配慮するようにと通知されているが、活動状況はどうか。
- (7) 感染症の不安や見守る側の高齢化、人材不足が懸念され、高齢者の単身世帯の増加等から、見守り活動においては工夫が必要とされている。滑川市社会福祉協議会では、N T T レゾナント株式会社と契約を交わし、民生児童委員連絡協議会と連携して、本年3月から6月までLEDとS I Mの一体型I o T電球を使用した見守り活動の実証実験をはじめ、民生児童委員連絡協議会からの継続の要望もあり、7月15日から9月15日までの期間延長された。効果や利便性の検証について問う。
- (8) 青森県むつ市や福島県浪江町など各自治体において、この見守り活動が事業化されているが、本市の事業化への見解について問う。

## 2 市政事務における適正性の充実に ついて

- (1) 平成29年の地方自治法改正に伴い、監査制度の充実強化として、第198条の4を新設し、監査基準の策定等について明文化するとともに、第196条第1項において「条例で議員のうちから監査委員を選任しないことができる。」と規定され、議選監査委員の義務付けが緩和されたところである。ガバナンスの在り方として地方自治法の一部を改正する法律の概要では、長、監査委員等、議会、住民が、役割分担の方向性を共有し、それぞれが有する強みを活かして事務の適正性を確保することが重要とされているが、現在、本市が議選監査委員を選任していることは、役割分担の方向性を共有し、それぞれの強みを活かした事務の適正性が保てているか当局の見解を問う。
  
- (2) 議選による監査委員の選任は、政策の妥当性的観点をもち、市政課題に対し把握したうえで市民の代表としての視点で監査されるものと考えられる。しかし、議会も行政予算に含まれ、議員が監査することは独立性に欠けるのではないか。法改正に伴い、議員枠を廃止した自治体は、廃止理由に「監査の独立性の確保」を挙げている。滑川市議会としても議選監査委員の在り方を検討していくべきであろうと思うが、富山市では平成30年3月定例会に当局側から市監査委員の議員枠を廃止する条例改正案の提出を予定していたが、議員定数の過半数を占める最大会派自民の反発により見送られた。今後も再度の提出に向け検討を進めるとしていた。事務の適正性を市民に示す観点からも当局側による監査制度を検討する必要性について見解を問う。



## 角川 真人 議員（一般質問）

### 1 災害避難所について

- (1) 8月の総合防災訓練の結果を踏まえて、避難所設営をスムーズに行えるよう日頃からの訓練を実施すべきではないか。
- (2) 実際に設営してみて、パーテーションやベッドなどの感染症対策に必要なとみられる備品は十分と考えるか。
- (3) 避難所でのトイレの確保はどうなっているか。排せつ物の処理まで考えて準備を行っているのか。

### 2 除雪について

- (1) 大雪の際のマニュアルの策定を検討すると、以前の議会で答弁があったがどのようになっているか。
- (2) 小型除雪機購入の補助を行っているが、その利用状況はどうか。また、この補助の件数を増やすことは検討しないのか。
- (3) 豪雪時の雪下ろしに限らず、高齢者世帯への除雪援助を制度化し、年を取っても雪の心配をしないで暮らせるまちにできないか。

### 3 ニホンザルについて

- (1) ニホンザルによる被害はどのように認識しているか。
- (2) 滑川市鳥獣被害防止計画には、有害鳥獣捕獲の担い手が不足していると、狩猟免許等取得希望者へ一部費用を助成するとあるが、利用状況はどうか。
- (3) 同じく計画の中に、地域住民に対して追い払いや電気柵についての研修会の開催があるが、そちらはどうか。



## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 9月補正予算案について

- (1) PCR検査助成事業について
  - ア 事前に委員会協議会を開催して、概要説明をすべきではなかったか。議会軽視ではないか。
  - イ 事業内容を問う。
  - ウ 2,400万円の根拠は何か。
  - エ 陽性と判断された場合の対応は。
  - オ 医療機関、保健所との連携について
  
- (2) コミュニティバス運行費について
  - ア 300万円の根拠は何か。
  - イ 300万円は最終的にどこに入るのか。

### 2 教育について

- (1) ICT教育について
  - ア 端末の持ち帰りの現状について
  - イ 校内通信ネットワーク環境整備について
  
- (2) 性の多様性と校則の見直しに関して教育長の見解を問う。

### 3 防災について

- ・ 地域気象防災について
  - ア 本市と地元気象台との連携状況について
  - イ 気象災害情報の専門家を育成する取り組みについて
  - ウ 本市における気象防災アドバイザー活用の検討について

### 4 スポーツ・健康の森公園について

- (1) 総合案内図には、多目的芝生広場内はペット入場禁止と書いてあるが、芝生広場に設置してある看板には、「犬や猫のふん・尿禁止」と書いてあり、紛らわしい。「ペット入場禁止」の看板を設置すべきではないか。

- (2) 樹木が植えてある競技場周辺のランニングコースの一部も衛生上の観点からペット入場禁止にすべきではないか。



## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 現在の年代別のワクチン接種の実績は。
- (2) 市長提案理由説明では、ワクチン接種を希望する全ての市民の方が、一日でも早く接種が完了するよう、全庁一丸となって努めるとなっているが、個別接種、集団接種、職域接種など、全ての接種機会を考え、いつ頃、接種完了と見込んでいるのか。
- (3) ワクチン接種がゴールではないと考えている。今後の感染拡大防止策についてどう考えているか。
- (4) 市独自予算でのPCR検査の実施について、どのような人を想定し、PCR検査を実施するのか。

### 2 キャッシュレス決済促進事業について

- (1) 7月に事業実施した、キャッシュレス決済促進事業の実績について
  - ア この事業を通して、キャッシュレス決済を導入した店舗はどれだけ増えたのか。
  - イ 7月の実績を踏まえての今回のキャッシュレス決済促進事業なのか。
- (2) 7月にキャッシュレス決済を導入されなかった店舗等や、前回対象外店舗を含めて、再度、導入検討を促すのか。
- (3) 利用者側のポイント還元について、スマホを持っていない市民の皆さまへの不公平感についてどう考えるか。

### 3 観光振興について

- ・ 今定例会で観光客誘致事業費が計上されている。全体委員会の説明では、コロナ後を見据えての取り組みと説明があったが、想定している事

業内容についての詳細と、予算根拠は。

#### 4 コミュニティバス事業について

- (1) 今定例会で65歳以上の方を対象にコミュニティバスの乗車料金の無料化に伴う予算が計上されている。どういう理由なのか。
- (2) 65歳の区切りが理解できない。一度、全ての人を無料にして、期間を区切って検証した方がよいのでは。
- (3) 6月定例会で、新しくバスの更新予算が計上されていたが、その後の入札結果と納車時期の予定はどうなのか。
- (4) 毎年バスの修繕費が多くなっている。市として車両管理をどのように考えているのか。
- (5) コミュニティバスを保有する使用者である滑川市は、自動車の使用の本拠ごとに、整備管理者を選任しなければならないが、実情はどうなのか。

#### 5 海浜公園整備事業について

- (1) バーベキュー施設や、オートキャンプ場、富山湾岸サイクリングコースの休憩スポットとして整備予定だが、誰をターゲットとして利用していただきたいのか。
- (2) 目の前は海であることから何かしらの利活用が求められていると思うが見解は。
- (3) 利用者の利便性を考えた取り組みについてどう考えているか。

## 高橋 久光 議員（一般質問）

### 1 我が市のインフラ（下水道事業）について伺う。

- (1) 現状市内の下水道（公共、農集等）事業の進捗率（供用状況）はどうか。
- (2) 当初の目標に対し遅れているのではと思うが、何が一番の課題か。
- (3) 今後、市内ほぼ全域での完成まで何年かかるのか。いつまでに完成する見込み目標かについて伺う。
- (4) 工事が完成しているにもかかわらず、接続、供用していない住宅があるが、その理由、割合はいくらほどあるか。
- (5) 笠木にある最終処理施設の対応について
  - ア 全市供用した場合の処理は現状のままできるのか。
  - イ 現状の敷地施設で対応しきれぬのか。
  - ウ 長寿命化対策、または災害（自然、公共ほか）に対する対応はされているか。

### 2 ボランティア活動、組織について伺う。

- (1) そもそもボランティアとは、「自分で進んで社会に(いろいろな活動に)無償で参加する」ということであると思うが、本市内での固定化した活動組織を担当課として把握しておられるか伺う。
- (2) ボランティア組織の中では、「個人ボランティア」、「市町村単位や県国で定期的に活動しておられるボランティア」等いろいろおられると思うが、その中でまったく「自費だけ」と、それぞれの「市町村や県国で応分の負担補助金」で活動しておられる団体等があるのではと思うが、我が市の状況はどうか伺う。
- (3) 万が一、不測の災害が発生した場合に備え、対策は取れているのか伺う。



## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 子どもの預かりと働き方の多様性について

- (1) 女性の管理職登用が進む中、女性の働き方について市の見解は。
- (2) 市内認定こども園、保育所の児童数は何人か。定員に余裕はあるか。
- (3) 市内の勤務している保育士の人数は何人か。適正数は。
- (4) 保育士の給料について市の見解は。今後の人材確保について
- (5) 市内放課後児童クラブの登録人数は何人か。適正数は。
- (6) 放課後児童クラブで勤める職員は何人か。適正数は。
- (7) 滑川市の認定こども園、保育所、放課後児童クラブの土日、祝日の預かりの対応は。

### 2 コロナ禍の学校対応について

- (1) 今後の児童生徒に感染者が多く出た場合の対応は、準備できているか。
- (2) 学校行事等の見直しはどうか。

### 3 農業の未来について

- (1) 農業従事者の平均年齢はいくつか。担い手確保はできているか。
- (2) 深層水トマトの現状と次なる戦略は何か。
- (3) 地域特産物生産推進費の対象である深層水トマト、里芋、エゴマの具体的な内容は。



## 原 明 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルスワクチンの接種率向上について

- (1) ワクチン接種を終えられた皆さんに、公共施設の使用料金、入場料金の割引等を実施し、接種率向上を図るべきと考えるが。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に関するリーフレットが配布された。今後も情報や案内を市民に伝えるべきと思うが考えを伺う。

### 2 水田貯留について

- ・ 豪雨時の洪水被害の軽減に水田貯留（田んぼダム）について取り組めないか。

### 3 公園の整備について

- (1) 滑川海浜公園整備について
- (2) はまなす公園の整備について

### 4 観光振興について

- (1) はまなす公園から海浜公園までの海岸部一帯を市観光の拠点として整備すべきと考えるが見解を伺う。
- (2) レストラン光彩のテラス席の活用について

### 5 国営施設応急対策事業「早月川地区」完成後の都市整備について

- (1) 現在指定されている用途地域の見直しや拡大が必要ではないか。
- (2) 滑川市の産業振興や商業施設、住宅環境の整備など多方面にわたり影

響が出ると思われるが、どのように考えているのか。



## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 公共施設の在り方

- ・ 公共施設の利用料金の設定と見直す時期、修繕の計画、金額は。
  - ア 屋内と屋外の料金設定の考え方を問う。
  - イ 東福寺野自然公園とスポーツ・健康の森公園での入場料や使用料はどのような考え方で設定しているか。市民の皆さんがこぞって出かける東福寺野自然公園は有料で、スポーツ・健康の森公園陸上競技場の無料なのはなぜか。タータンの走路は修繕が必要ないのか。修繕や張り替えの予定の計画はしてあるのか。予算はどれほどか。
  - ウ 今議会に上程されているオートキャンプ場について
    - (ア) キャンプ場の使用料は無料と聞いているが、見直しされないのか。
    - (イ) バーベキュー施設も無料とするのか。東福寺野自然公園は屋外1,200円、室内は2,700円と聞いている。屋根もつけない、鉄板もガスも設置しない。場所だけだからタダとの考え方か。トイレや炊事場の掃除、火の始末は誰が行うのか。考え方を伺う。
    - (ウ) 年間の経費は100万円を想定していると報告があったが、会場入口に受付を設けて係の人を雇えば雇用の創出につながるがどうか。安全安心なキャンプ場にするための体制づくりを。
    - (エ) 今後、少子化と人口減少の時代になっていく。公共施設の使用料の設定は公共サービスを提供する者の姿勢そのものを反映している。利用者とのコミュニケーションの一つと考えている。今後、どのような考え方をもって、公共施設の使用料金見直しを進めるべきと考えているか。また、その時期はどのように考えているか伺う。

### 2 コロナ禍の中で

- (1) 市内の感染者が続いているが、入院調整中との報告である。今まで入院調整中の感染者は自宅療養などを行っているのか。その場合の配食サービスや生活応援品の支給などしないのか。厚生センターだけに任せておくのか、見解を伺う。
- (2) 感染者がどのように広がっているのか状況がわからない。マンネリ化を防ぐ意味でも市内を東西南北に分けて市民の皆さんに情報提供と注意喚起を徹底すればどうか。

### 3 子育て支援について

- (1) コロナ禍での出生数の現状と過去3年間との比較はどうか。
- (2) 昨年4月28日以降から令和2年度末までの滑川市でのお祝い品を渡した人数は何人か。
- (3) 今年もコロナ禍の中、出産は大変な状況になっている。一人で出産することは昨年と同じ状態で、妊婦さんの努力と心配は計り知れないと思う。行政の公平性の観点からも昨年同様、商品券のお祝い品を支給することは考えられないか。

### 4 教育について

- ・ 児童生徒のタブレット支給は完了したと思われる。この夏休みに家庭に持ち帰り、リモート学習ができるかどうかの確認をした学校・学年とそうでない学校・学年があったように聞いているが、現状はどうか。ばらつきがあったなら何が原因か。今後は、教科書に沿ったソフトの準備はしていくのか。滑川市として共通のソフトで学習をすることに意義があると思うがどうか。

### 5 スポーツについて

- ・ 今年のオリンピックで金メダルに輝いたスケートボード競技に刺激され、あちこちで練習に励んでいる子どもたちを見かける。児童館の跡地を利用して練習場を確保してほしい。できれば、大手スポーツ企業や業界に呼び掛けて官民一体でのコースと練習場付きのスケートボード場ができないか。ぜひ子どもたちの夢のため、働きかけてほしいがいかがか。未来のオリンピックが育つまち滑川のために。